

(倫理様式 2-2-1)

障害者施設等一般病棟における意思決定支援の継続性を支える要因 ～ACP 実施状況と疾患特性に着目した後方視的分析～

1. 研究の対象

令和 6 年 1 月から令和 7 年 12 月までに死亡退院した、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、多系統萎縮症(MSA)、パーキンソン病、Creutzfeldt-Jakob 病(CJD)、脳卒中亜急性～終末期など、30 例を対象としました。

2. 研究目的・方法

ACP およびレスパイトケア目的短期入院(レスパイト入院)による継続的支援の有用性を明らかにすることを目的としました、そのために、障害者施設等一般病棟における意思決定支援の継続性を支える要因について ACP (アドバンス・ケア・プランニング) 実施状況、疾患特性に着目し分析しました。

本研究により、意思尊重に繋がる堅固実践や支援体制の特徴を明らかにすることで今後の終末期ケアの質向上及び ACP 支援体制の充実に役立てる事が期待されます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：入院前の本人意思確認の有無、ACP 実施回数、レスパイト入院利用の有無、疾患名など

※個人が特定される情報は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 医療情報課 電話：0270-24-3355

研究責任者：美原記念病院 看護部 近藤 菜々美